

隠岐広域連合行財政改革大綱実施計画の評価及び課題について（令和元年度）

(1) 組織・機構の見直し

取組項目	実施項目		評価	評価の詳細(R01)	課題(次年度の実施内容)
	実施内容	数値目標・実施期限等			
①組織の効率化・スリム化					
1 事務作業の見える化【担当部署:事務局総務課】					
1. 業務基準書の改定	①職員個人毎に業務基準書の改定	①職員個人毎に業務基準書の改定	B	①人事異動等に伴い、「業務基準書」の見直し実施	①継続して、人事異動等に伴う「業務基準書」の見直し実施
2 ICT(情報通信技術)の推進【担当部署:事務局総務課】					
1. ICTスキルアップ5か年計画の策定	①ICTスキルアップ5か年計画の策定 ②ICTスキルアップ5か年計画の推進	①5か年計画策定済み(H29～R3) ②R元年度計画の推進	D	①計画どおりには実施できなかった	①計画に基づき取組を実施
2. ICTの推進	①ICT推進委員会の開催 ②ICT研修会の開催	①ICT推進委員会を年3回以上開催 ②情報セキュリティ研修、ITスキルアップ研修の開催	D	①ICT推進委員会を2回開催、広域連合事務局においてサーバフォルダ運用見直しを実施 ②情報セキュリティ研修(新規採用職員対象者1回)、e-ラーニング研修実施。 ITスキルアップ研修について3月に開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止	①ICT推進委員会を年3回以上開催 ②ICT研修会の開催
3. 情報管理員の連携	①隠岐病院事務部医事課、事務局介護保険課の2名の情報管理員について、業務情報共有の推進	①情報交換会の定期的開催	E	①情報交換会を定期的に開催できなかった	①情報交換会の定期的開催
②住民サービスの向上					
1 地域での医療・介護・福祉・保健の連携体制づくり【担当部署:事務局介護保険課】					
1. 隠岐圏域地域包括ケアシステム推進委員会の開催	①隠岐圏域地域包括ケアシステム推進委員会の開催	①令和2年度末までに推進委員会を5回開催 ・検討事項、IV保健・医療・介護(福祉)の連携について提案策をまとめ、最終報告書を完成させる ・今後の推進委員会の在り方や開催方法を検討する	B	①推進委員会を3回開催(6月・10月・12月) 3月開催予定であった推進委員会及び事業所意見交換会(島後・島前)はコロナ感染症拡大防止のため中止とした。 ・IV保健・医療・介護(福祉)の連携についての提案策をまとめた。 ・最終報告書については、検討確認を行ったが、完成できなかった。 ・今後の在り方について検討した結果、取り組み内容の検証や事業所との意見交換会の開催、また、人材確保事業の進捗確認等を行っていくことを確認した。	①推進委員会の開催及び取組み ・推進委員会の開催(3回) ・事業所意見交換会(島後・島前:各1回) ・提案書(最終報告書)の完成版及び概要版の作成
2 外来待ち時間対策【担当部署:隠岐病院】					
1. 待ち時間環境整備アンケート調査の実施	①待ち時間環境整備アンケート調査の実施及び検討会議の開催	①令和元年度12月までに患者満足度調査を実施する。 ②患者待ち時間の結果と分析	C	①患者満足度調査を実施(11月):1回 ・調査結果をもとに接遇向上委員会にて待ち時間調査結果を共有した。	・今回のアンケートでは、採血や検査を含めた待ち時間が把握できていないため、次年度以降はアンケートの見直しが必要。 ・次年度は待ち時間中の過ごし方や待ち時間を過ごすための患者の要望など、視点を変えたアンケートの実施検討する。
2. 待ち時間の環境整備	①待ち時間環境整備アンケートの結果に基づき、検討会議において待ち時間環境整備対策計画を作成、実施	①アンケート調査実施後の検討会の実施と対策案の検討	C	①アンケート調査実施後に接遇向上委員会において待ち時間対策について協議したが、有効な対策案は立案できていない。	・採血等院内運用の見直し ・待ち時間を充実させる取組みについて、上記アンケート等を参考に計画を立案する。

隠岐広域連合行財政改革大綱実施計画の評価及び課題について（令和元年度）

(1) 組織・機構の見直し

取組項目	実施項目		評価	評価の詳細(R01)	課題(次年度の実施内容)
	実施内容	数値目標・実施期限等			
3 健診・ドック等予防医療の推進【担当部署:隠岐病院】					
1. 疾病の予防医療に関する正しい知識の啓発活動	①医々とも座談会において啓発活動を実施 ②隠岐病院広報誌「まめなかの」において啓発活動を実施	①医々とも座談会について、各地区を一巡したことにより、定期開催を終了した。(各地区より開催要望等あれば随時開催予定) ②令和元年度末までに啓発活動を1回実施	B	①医々とも座談会の定期開催終了により未実施。 ②広報誌「まめなかの」によりドック・健診の啓発活動を実施:0回 ③隠岐の島町と連携し、特定健診啓発強化月間(10月)を設定して、院内外での啓発活動を実施(チラシの発行)。 ④検診件数は前年比54件の増	特定健診の目標値を隠岐の島町と共有し、連携して啓発活動に取り組んでいく必要がある。

評価

- A: 計画通り実施され、相当程度の効果があった
- B: 計画通り実施され、一定程度の効果があった
- C: 計画通り実施されたが、効果が薄かった
- D: 計画の半分程度しか実施されなかった
- E: 計画がほとんど実施されなかった

隠岐広域連合行財政改革大綱実施計画の評価及び課題について（令和元年度）

(2) 健全な財政運営

取組項目	実施項目		評価	評価の詳細(R01)	課題(次年度の実施内容)
	実施内容	数値目標・実施期限等			
①財源の確保					
1 遊休資産の活用【担当部署:事務局総務課】					
1. 遊休資産活用検討委員会の開催	①遊休資産活用検討委員会を開催し遊休資産活用計画を策定 ②遊休資産活用計画の推進	①H30年8月に活用計画策定済み ②R元年度計画の推進	B	①遊休資産(旧消防庁舎、仁万の里分棟、旧空港管制塔)の活用計画を実施 ②旧消防庁舎(保護司会等に貸与、庁舎周りの環境整備)、仁万の里分棟(2棟は指定管理者において活用、2棟は倉庫に使用)、旧空港管制塔(隠岐太鼓保存会に貸与、管制塔周りの環境整備)	①各遊休資産を保全し現状維持の継続
2 介護保険料未収金対策の強化【担当部署:事務局介護保険課】					
1. 定期的な訪問徴収の実施	①定期的な訪問徴収の実施	①事務局内徴収チームでの訪問徴収を6回実施 (目標収納率:99.3%)	B	①事務局内徴収チームでの訪問徴収を年5回実施した。また、電話等の訪問約束により介護保険課内徴収チームでの訪問徴収を定期的に行った。 ・令和元年度介護保険料収納率:99.52%	①庁内訪問徴収(偶数月、年6回) (目標収納率99.3%)
3 適正な診療報酬の算定【担当部署:隠岐島前病院】					
1. レセプト請求業務に関する研修会の開催	①研修会の開催	①令和元年度末までに研修会を1回実施	E	・研修会を開催しなかった。	・研修会の開催及び、勉強会への参加を計画する。
2. 施設基準等に係る診療報酬届出事務に関する研修会の開催	①研修会の開催	①令和元年度末までに研修会を1回実施	B	・説明会等外部研修に参加した者を中心に、医師全員と各部署の代表者において、伝達研修会等を開催した。	・引き続き実施する。
3. 院内会議(査定率等の報告)の開催	①院内会議(査定率等の報告)の開催	①令和元年度末までに院内会議(査定率等の報告)を12回実施	A	・毎月第2火曜日に12回/年 実施した。	・引き続き実施する。
4 適正な診療報酬の算定【担当部署:隠岐病院】					
1. 保健医療適正運用委員会(医師含む)の開催	①委員会の開催	①令和元年度末までに委員会を6回実施	B	・委員会を実施し、査定分析を行った。(年6回開催) ・診療報酬改訂前年であり、新たな診療報酬への対応について各部署にて検討を行った。 ・外部機関を活用し、レセプト分析を行った。	・次年度は、経営改革診療報酬PTと連携を図りながら適正な診療報酬の算定と新たな診療報酬の獲得を一層進めていく必要がある。
2. 医事係職員による医療従事者向け診療報酬勉強会の開催	①勉強会の開催	①令和元年度末までに勉強会を2回実施	B	・看護部向け病院経営(診療報酬)研修会を開催:年1回 ・診療報酬改訂に対する職員研修会を開催:年2回	・職員全体の診療報酬に対する知識を深めるため、職員向けの勉強会を継続して開催する。 ・経営改革計画の実行支援に伴い、委託業者を活用しながら職員のスキルを高める必要がある。
3. 医局会議(査定率等の報告)の開催	①医局会議(査定率等の報告)の開催	①令和元年度末までに医局会議(査定率等の報告)を12回実施	B	・毎月1回開催の診療部会議において、査定率の状況及び査定内容の報告を実施した。	・査定率の高い状況が続いていることから、更なる取り組みが必要であり、査定分析を行い対応を検討する。

隠岐広域連合行財政改革大綱実施計画の評価及び課題について（令和元年度）

(2) 健全な財政運営

取組項目	実施項目		評価	評価の詳細(R01)	課題(次年度の実施内容)
	実施内容	数値目標・実施期限等			
5 未収金対策の強化【担当部署:隠岐病院】					
1. 退院精算連絡票の活用	①すべての入院患者へ、退院時に退院精算連絡票を活用	①すべての入院患者へ、退院時に退院精算連絡票を活用	B	①すべての入院患者に対して退院精算票を活用することにより未収金の発生抑制に取り組んだ。	退院精算票及び当日未支払者への誓約書記載の継続 外来未収金対策について発生の抑制策を検討する。
2. 定期的な訪問徴収の実施	①定期的な訪問徴収の実施	①令和元年度末までに訪問徴収を2回実施(目標:過年度未収金残高2%削減)	B	①訪問徴収を年2回(9月・2月)実施した。 ☆過年度自費未収金残高削減実績:6%減	①毎月の対応に加えて、強化月間を設定し事務部全職員による対応で目標値を上回る削減率となったが、その回数等について引き続き検討する。
②経費削減					
1 勤務時間の弾力的な運用【担当部署:事務局総務課】					
1. 時差出勤制度の導入の検討	①時差出勤制度の導入の検討	①H29年4月に規程策定済み	B	①H29年度に導入	①制度を継続
2. 時差出勤制度の実施	①時差出勤制度の実施	①制度の実施、検証	B	①H29年度以降、各職場において実施	①制度を継続
2 業務委託内容(仕様書)の検証及び診療材料の縮減【担当部署:隠岐病院】					
1. 業務委託検討委員会の開催	①業務委託検討会議の開催 ②業務委託内容(仕様書)の検証	①令和元年度に検討会議を2回開催 ②業務委託内容(仕様書)の検証	B	①経営改革コンサルティング経費削減プロジェクトチームを立ち上げ、材料費及び委託料削減のための検討会議を年4回行った。 ②上記の経費削減プロジェクトチームにおいて、特に診療情報システム保守料の見直しを行い、フルメンテナンスからスポット対応に切り替えたことで約900万円の委託料の削減を行った。	継続的に業務委託の内容検証を行うとともに、新たな委託等の必要性について検討する。
2. 薬事委員会の開催	①薬事委員会の開催(医薬品・診療材料管理委員会へ名称変更) ②後発医薬品の推進	①令和元年度末までに医薬品・診療材料管理委員会を4回開催 ②後発医薬品の採用状況	B	①医薬品・診療材料管理委員会の開催は4回 ②後発薬品採用数248品目(H30)→326品目(R1) 効果額:300万円	委員会の開催及び後発薬品数の採用数は改善され、後発薬品に変更したことにより一定程度の効果が見られた。今後は後発医薬品使用体制加算等の取得についても検討していく。
③施設の整備及び管理					
1 指定管理施設(超高速船レインボーJ、フェリーおき、レインボープラザ及びび仁万の里)の適切な管理運営【担当部署:事務局総務課】					
1. 指定管理者評価委員会の開催	①評価委員会の開催	①各評価委員会を1～2回開催	B	①「超高速船レインボージェット、フェリーおき指定管理者評価委員会」1回開催(第2回は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止)、「び仁万の里指定管理者評価委員会」1回開催	①評価委員会の開催(各1回)

隠岐広域連合行財政改革大綱実施計画の評価及び課題について（令和元年度）

(2) 健全な財政運営

取組項目	実施項目		評価	評価の詳細(R01)	課題(次年度の実施内容)
	実施内容	数値目標・実施期限等			
2. 評価結果に基づく要望書の提出	①評価結果に基づく要望を各指定管理者提出、改善を求める	①各指定管理者に対し要望書を提出し改善を求める	B	①指定管理者(隠岐汽船株、社会福祉法人博愛及び(株)隠岐商事)に対し要望書提出	①評価結果に基づく要望書の提出を継続
2 消防庁舎及び職員宿舎の施設整備【担当部署:消防本部】					
1. 消防庁舎(分署(西ノ島町)、海士出張所)整備方針検討	①庁舎整備検討会議の開催	①令和元年度末までに検討会議を年1回開催	D	実施には至らなかった。	隠岐島消防署島前分署・海士出張所庁舎整備計画を関係町村に中期財政計画に反映するようアプローチは続けていく。
2. 職員宿舎の確保	①庁舎整備検討会議の開催(構成町村等公営住宅活用協議)	①令和元年度末までに検討会議を年1回開催(構成町村等公営住宅活用協議)	D	実施には至らなかった。	構成町村と職員宿舎整備計画及び公営住宅等活用を協議する。

評価

- A:計画通り実施され、相当程度の効果があった
 B:計画通り実施され、一定程度の効果があった
 C:計画通り実施されたが、効果が薄かった
 D:計画の半分程度しか実施されなかった
 E:計画がほとんど実施されなかった

隠岐広域連合行財政改革大綱実施計画の評価及び課題について（令和元年度）

(3) 定員管理

取組項目	実施項目		評価	評価の詳細(R01)	課題(次年度の実施内容)
	実施内容	数値目標・実施期限等			
①職員定数の適正化					
1 行政職職員定数の適正化【担当部署:事務局総務課】					
1. 職員配置計画を策定し、適正な人員を配置	①職員配置計画を策定	①令和元年5月末までに職員配置計画を策定	B	①職員配置計画を策定(5月)	①令和元年度の取組を継続
2. 計画的な職員採用	①職員採用計画を策定	①令和元年5月末までに職員採用計画を策定	B	①職員採用計画を策定(5月)	①令和元年度の取組を継続
2 看護師及び医療技術職員定数の適正化【担当部署:隠岐島前病院】					
1. 職員配置計画を策定し、適正な人員を配置	①職員配置計画を策定	①令和元年度5月末までに職員配置計画を策定	C	・人員配置計画を策定したが、必要人員の再検討を実施中であり見直しの必要性がある。	・職場の状況に応じた必要配置人員の見直しを行う。
2. 計画的な職員採用	①職員採用計画を策定	①令和元年度5月末までに職員採用計画を策定	C	・人員配置計画に基づく採用計画となるが、必要人員の配置計画の見直しによって再検討が必要である。	・見直しを行った人員配置計画に基づく採用計画を策定する。
3 看護師及び医療技術職員定数の適正化【担当部署:隠岐病院】					
1. 職員配置計画を策定し、適正な人員を配置	①職員配置計画を策定	①令和元年度5月末までに職員配置計画を策定	C	①人員配置計画を策定したが、必要人員の再検討を実施中であり見直しの必要性がある。	職場の状況に応じた必要配置人員の見直しを行う。
2. 計画的な職員採用	①職員採用計画を策定	①令和元年度5月末までに職員採用計画を策定	C	①人員配置計画に基づく採用計画となるが、必要人員の配置計画の見直しによって再検討が必要である。	見直しを行った人員配置計画に基づく採用計画を策定する。
4 消防職員定数の適正化【担当部署:消防本部】					
1. 職員定数の適正化	①職員配置計画を策定	①令和元年度末までに職員配置計画を策定。 検討会議を年1回開催	D	実施には至らなかった。	消防力強化のため職員配置計画を策定し、検討会議を実施する。

評価

- A:計画通り実施され、相当程度の効果があった
 B:計画通り実施され、一定程度の効果があった
 C:計画通り実施されたが、効果が薄かった
 D:計画の半分程度しか実施されなかった
 E:計画がほとんど実施されなかった

隠岐広域連合行財政改革大綱実施計画の評価及び課題について（令和元年度）

（４）人材育成・確保の推進

取組項目	実施項目		評価	評価の詳細(R01)	課題(次年度の実施内容)
	実施内容	数値目標・実施期限等			
①人材育成					
1 職員のレベルアップ【担当部署:事務局総務課】					
1. 研修計画の策定	①研修計画の策定	①R元年度研修計画を策定	B	①研修計画を策定(H31年3月)	①前年度末までに研修計画を策定
2. 各種研修会の参加	①自治研修所等で開催する研修への参加促進 ②隠岐地区で開催される研修への参加促進	①7名参加 ②業務に支障のない範囲で可能な限り参加	B	①自治研修所研修受講者(5名) ②隠岐地区開催研修受講者(9名)	①計画に基づき研修受講
3. 情報通信技術を用いて行う研修への参加	①e-ラーニング研修への参加促進	①対象者(事務系職員)全員参加	B	①e-ラーニング研修受講者(40名)	①e-ラーニング研修受講を継続
2 人材育成【担当部署:隠岐島前病院】					
1. 院内会議の回覧周知	①経営状況等資料を各部署へ回覧し情報を共有化	①令和元年度末までに資料回覧を12回実施	A	・毎月第2火曜日に12回/年 実施した。	・引き続き実施する。
2. 経営講習会等	①研修会の開催	①令和元年度末までに研修会を2回実施	E	・研修会を開催しなかった。	・全体の研修会は困難なため、各部署(個別)毎に実施できるよう計画を見直す。
3 全職員参加型の経営管理手法の導入【担当部署:隠岐病院】					
1. 経営改革計画の実施	①計画の実施	①令和元年度末までに計画書の策定	B	①外部委託業者による経営改革コンサルティング業務を行い、隠岐病院内外の現状分析と経営改革計画書の策定を行った。	前年度策定した経営改革計画を全職員へ周知していくとともに、計画の実行について、それぞれの取組項目ごとにプロジェクトチームやワーキングチームを立ち上げて取り組んでいく。
2. 院内会議の回覧周知	①経営状況等資料を各部署へ回覧し情報を共有化	①令和元年度末までに資料説明及び回覧を12回実施	B	①毎月1回管理職会議にて経営状況の報告を行い、収益増及び経費削減の取り組みのポイントを説明	経営状況の報告については継続していくが、経営改革の実行に合わせて内容を更に検討する。
3. 経営改革推進委員会の開催	①委員会の開催	①令和元年度末までに委員会を1回実施	B	①計画策定の年度であり、そのための方針決定にかかる協議等年5回行った。	経営改革計画について、短期的な取組の進捗管理と中長期的な取組への方針協議等、定期的な委員会の実施。
4 QC活動(小グループで業務改善等を行う活動)の推進【担当部署:隠岐病院】					

隠岐広域連合行財政改革大綱実施計画の評価及び課題について（令和元年度）

（４）人材育成・確保の推進

取組項目	実施項目		評価	評価の詳細(R01)	課題(次年度の実施内容)
	実施内容	数値目標・実施期限等			
1. 全員参加型のQC活動を実施	①QC活動及びQC活動発表会の実施	①令和元年度末までにQC活動及びQC活動発表会を実施	B	①QC活動の実施と発表会を開催し業務改善に取り組んだ。 ②特にQC手法(問題解決)を学ぶため年5回の研修会を開催した。	誰もがQC手法を用いて業務改善できるよう研修会を開催しながら今後も継続してQC活動に取り組んでいく必要がある。
5 職員のレベルアップ【担当部署:消防本部】					
1. 職員のレベルアップ	①自治研修所、消防学校で開催する研修への参加促進 ②県内開催の災害訓練等への参加促進 ③消防本部内等において受講職員を講師として、フォローアップ研修の開催	①令和元年度の研修計画を策定 ②令和元年度の災害・訓練等への参加 ③令和元年度末までにフォローアップ研修の開催	B	①消防学校で開催する研修計画を作成。 ②災害・研修に参加した。(数名) ③フォローアップ研修 16回	①消防学校、消防大学校で開催する研修への参加促進する。 ②県内開催の災害・訓練等への参加促進する。 ③消防本部内等において受講職員を講師として、フォローアップ研修する。
②人材確保					
1 島の医療人育成センターの設立【担当部署:隠岐病院】					
1. 情報発信	①島の医療人育成センターの活動状況等をSNSで情報発信 ②島の医療人育成センターの活動状況等を広報で情報発信	①令和元年度末までにホームページ、メールマガジン等で6回情報発信。 ②令和元年度末まで広報を2回発行	C	①ホームページに島の医療人育成センターのページを掲載中。 フェイスブックの更新はしていない。 ②センター広報誌「センターだより」の第3号、第4号を発行した。	①ホームページへの掲載や昨年度はラインによるメールマガジンの配信契約を行ったところであるが、今後は定期的な更新や情報発信がなされるような体制の強化と仕組みづくりを行っていく必要がある。
2. 初期臨床研修医の受入態勢の強化	①派遣医療機関の拡大 ②受入研修医師の拡大	①令和元年度末までに派遣医療機関を5機関受入れ ②令和元年度末までに研修医師を24名受入れ	B	①令和元年度初期研修医派遣元医療機関数:10病院 ②22名の初期研修医の受入れを実施	研修医の受入れはほぼ予定通り実施できた。今後も継続して進めていく必要がある。
3. 専門医制度の研修受入体制の構築	①連携病院としての総合診療専門医研修プログラムの策定 ②総合診療専門医の受入	①令和元年度までに連携病院としての総合診療専門医研修プログラムを策定する。 ②平成30年度以降の専門医等の受入実績及び検証	C	①連携病院としての総合診療専門医研修プログラムを策定できていない。令和元年度は新たに八戸市立市民病院総合診療科専門研修プログラムと連携した。 ②総合診療科専攻医の受入れ依頼はない。次年度に大阪市立総合医療センターから救急科専攻医の受け入れを予定している。	引き続き隠岐病院を選んでもらえるような取り組みを進めていく必要がある。

評価

- A: 計画通り実施され、相当程度の効果があった
 B: 計画通り実施され、一定程度の効果があった
 C: 計画通り実施されたが、効果が薄かった
 D: 計画の半分程度しか実施されなかった
 E: 計画がほとんど実施されなかった